

# 米づくり情報 第9号

令和5年8月28日

平坦部(佐賀県農業試験研究センター)

## 本年産水稻の生育状況(8月28日)

移植日	項目		年次	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉齢 L	葉色 SPAD	概況 (平年と比較して)
	品種							
6月19日	夢しずく	本年	本年 平年 平年比(差)	出穂期:8月17日			[気象] 8月21日~8月27日まで ◆平均気温…高い(平年差+2.0) ◆日照時間…長い(平年比113%) ◆降水量…少ない(平年比9%) [生育] ◆草丈 「さがびより」はやや低く、「ヒヨクモチ」は平年並み。 ◆茎数 「さがびより」「ヒヨクモチ」どちらも多い。	
		平年		出穂期:8月17日 ±0				
6月20日	ヒノヒカリ	本年	本年 平年 平年比(差)	出穂期:8月27日			◆葉齢 「ヒノヒカリ」の主稈葉数は平年並みであった(主稈葉数:本年14.5、平年14.3)。 「さがびより」は平年並み、「ヒヨクモチ」はやや進んでいる。 ◆葉色(SPAD値) 「さがびより」はやや高い、「ヒヨクモチ」は平年並み。 ◆葉耳間長 「さがびより」は+11.8cm、「ヒヨクモチ」は+6.0cmとなっている。	
		平年		出穂期:8月27日 ±0				
6月20日	さがびより	本年	本年 平年 平年比(差)	92.3	462	15.0	34.5	
		平年		96.7	418	15.2	33.3	
6月20日	ヒヨクモチ	本年	本年 平年 平年比(差)	80.0	658	16.2	35.9	
		平年		80.9	446	15.4	35.7	
留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 水管理は、穂肥施用時の湛水管理を除き、引き続き間断灌水を行う。</li> <li>○ トビイロウンカ、紋枯れ病、斑点米カメムシ類の発生が多くなると予想されている。圃場での発生状況を確認し、状況に応じた防除を行う。</li> </ul>							

- 注1)「夢しずく」、「ヒノヒカリ」は、6月19日移植の稚苗(播種期5/25、播種量 湿粳 180g/箱)  
「さがびより」、「ヒヨクモチ」は、6月20日移植の稚苗(播種期5/26 播種量 湿粳 180g/箱)
- 2)栽植密度: 「夢しずく」は、条間30cm×株間17cm, 19.6株/m<sup>2</sup>(65株/坪)  
「さがびより」は、条間30cm×株間20cm, 16.7株/m<sup>2</sup>(55株/坪)  
「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」は、条間30cm×株間15cm, 22.2株/m<sup>2</sup>(73株/坪)
- 3)栽培管理: 施肥法は県基準に準じ、防除他はセンターの慣行による。
- 4)概況欄の【草丈】、【茎数】の平年値との比較については、以下のように定義している。  
低い(少ない):94以下、やや低い(やや少ない):95~98、平年並み:99~101、  
やや高い(やや多い):102~105、高い(多い):106以上。
- 5)平年値は、収量について過去の全試験年次の標準偏差(σ)を算出し、±1σの外側にある年次を除く年次の過去データから算出した8月28日の数値を記載。ただし、「さがびより」「ヒヨクモチ」の平年値は過去データから算出した数値から求めた近似式を用いて算出したもの。

【窒素の時期別施用量(N kg/10a)】

品 種	基 肥	中 追	穂肥 I	穂肥 II	実 肥
夢しずく	3.0	0.0	2.0(7月29日)	—	—
ヒノヒカリ	4.0	2.0(7月8日)	3.0(8月7日)	—	—
さがびより	5.0	0.0	2.0(8月14日)	—	—
ヒヨクモチ	4.0	3.0(7月13日)	4.0(8月15日)	1.5(8月24日)	1.5

※括弧内の日付は農試作況圃場における施用日

【農試作況圃場における幼穂形成始期と出穂期】

品 種	幼穂形成始期(主茎幼穂長 1mm)		出穂期	
	本年(平年差)	平年	本年(平年差)	平年
夢しずく	7月28日(±0)	7月28日	8月17日(±0)	8月17日
ヒノヒカリ	8月7日(+2)	8月5日	8月27日(±0)	8月27日
さがびより	8月11日(+2)	8月9日	未	9月1日
ヒヨクモチ	8月15日(+1)	8月14日	未	9月6日

# 令和5年産 稲作期間気象図

## アメダス観測値(佐賀)

農業試験研究センター  
作物栽培研究担当

